

第 10 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和元年 12 月 26 日 (木) 10:00 ~ 11:45
場 所	都庁第二本庁舎 31 階 特別会議室 22
出席者	委員) 今井委員、大槻委員、川本委員、幸村委員 計 4 名 事務局) 佐藤局長、松丸管理部長、村本総務課長、鈴木公金管理課長、山村資金運用担当課長、赤岩課長代理、加藤課長代理、落合課長代理、有井主任、土本主任、野口主任 計 11 名
欠席者	なし
議 題	1. 邦銀の中間決算を踏まえた評価について 2. 外国銀行の中間決算等を踏まえた評価について 3. 預金制限額について 4. 債券発行体の動向等を踏まえた債券運用について
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第 10 回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 事務局 本会議は、東京都公金管理アドバイザー会議設置要綱第 5 条で原則公開と定めている。ただし、委員の意見を聞いたうえで、非公開とすることができると規定しており、会議の開催前に、公開もしくは非公開について、委員全員の意見を聞くこととなっている。 委員 議題の内容を踏まえ、全員が非公開にすべきとの意見を表明。 この結果、本日の会議は非公開とすることを決定。</p> <p>(3) 議題 1 「邦銀の中間決算を踏まえた評価について」 事務局 預金先金融機関（邦銀）の経営状況について、中間決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（邦銀）の評価を報告した。 委員 預金先金融機関（邦銀）の評価内容については、適正なものである。 委員 中間決算は参考という位置づけであるが、昨今の金融情勢の変化の目まぐるしさを踏まえ、位置づけの見直しを今後検討してみてもどうか。 委員 現行の評価体系を金融情勢に合わせて、適時見直していくことも検討していいのではないか。 事務局 適正な評価が継続して可能となるように今後も取組を進めていく。</p> <p>(4) 議題 2 「外国銀行の中間決算等を踏まえた評価について」 事務局 預金先金融機関（外国銀行）の経営状況について、中間決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（外国銀行）の評価を報告した。 委員 預金先金融機関（外国銀行）の評価内容については、適正なものである。</p>

(5) 議題3「預金制限額について」

事務局 議題1及び2を踏まえた各預金先金融機関の預金制限額について報告した。

委員 預金先金融機関の預金制限額の扱いについては、現状の制限額の枠組みの下では妥当なものである。

委員 金融機関への預金については、金融機関の預金受け入れスタンスも十分考慮に入れながら、適正な管理を心掛ける必要がある。

事務局 各金融機関のスタンスも加味しながら、適正な預金管理が可能な枠組みを今後検討していく。

(6) 議題4「債券発行体の動向等を踏まえた債券運用について」

事務局 債券発行体の経営状況について、決算状況を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものである。

以上